

11 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

令和2年7月1日現在

設立年月日	平成2年10月16日	代表者氏名	理事長 杉崎 正美		
所在地	名古屋市中区栄二丁目10番19号			電話番号	052-201-5733
ホームページアドレス	https://www.nagoya-info.jp/ncvb/				
資本金・基本金	1,055,000千円	市出資・出捐金	500,000千円	(47.4%)	
所管部局	観光文化交流局観光交流部観光推進課			電話番号	052-972-2425
設立目的	名古屋市及びその周辺地域の産業技術、文化、歴史等の資源を活用して、コンベンションの誘致及び観光の振興を図ることにより、名古屋市の産業経済の活性化及び文化の向上並びに国際相互理解の増進に寄与することを目的とする。				
主な事業	事業名	令和元年度 事業費	事業の概要		
	観光事業	343,492千円	観光客の誘致・宣伝・受入		
	案内所事業	92,123千円	観光案内所の管理運営		
	コンベンション事業	70,151千円	コンベンションの誘致・支援		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	2人	(うち市派遣)	1人	(うち市OB) 1人
	職員数	33人	(うち市派遣)	2人	(うち市OB) 0人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,696千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		7,334千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		49.3歳
市からの財政支出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	委託料	84,665千円	87,652千円	88,217千円	
	内 随意契約金額	(84,665千円)	(87,652千円)	(88,217千円)	
	補助金	309,760千円	380,041千円	372,996千円	
	指定管理料	0千円	0千円	0千円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
	経常収益	488,672千円	563,259千円	556,132千円	
	経常費用	489,572千円	559,851千円	584,701千円	
	経常利益(損失)	▲ 900千円	3,409千円	▲ 30,244千円	
	当期利益(損失)	▲ 900千円	3,409千円	▲ 30,244千円	
貸借対照表	総資産	1,495,379千円	1,513,585千円	1,490,668千円	
	内 流動資産	(366,218千円)	(384,565千円)	(383,319千円)	
	内 固定資産等	(1,129,161千円)	(1,129,020千円)	(1,107,348千円)	
	総負債	67,891千円	82,689千円	90,016千円	
	内 流動負債	(67,891千円)	(82,689千円)	(90,016千円)	
	内 固定負債等	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	純資産(正味財産)	1,427,487千円	1,430,896千円	1,400,652千円	

経営に関する指標（共通指標）

11 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

○法人の自立性

	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	83.0%	82.9%	+2.3%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
	令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	11.8%	11.8%	0.0%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	76.5%	75.8%	▲0.6%

○組織運営の効率性

	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
管理費比率 $\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	2.5%	3.3%	+0.8%

○財務の健全性

	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	94.5%	94.0%	▲0.7%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	465.1%	425.8%	▲39.2%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	78.9%	79.1%	+0.2%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	375,896千円	345,652千円	▲ 30,244千円

○ 経営戦略計画 (H29～H31) の概要

経営戦略方針

私たちは、名古屋が持つ多様な集客交流資源を活用することで、新たな価値を生み出す「プロデューサー」を目指します。多様な協働と連携により、名古屋の魅力発掘と国内外への情報発信、観光客及びMICEの誘致と受入を、安定的・効果的・効率的に行います。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	31 目標値	31 実績値
目的とターゲットを明確にし、有効な事業に資源を投入する「選択と集中」の事業展開により、観光客とMICEの誘致及び来訪者の受入態勢の充実を図り、地域の活性化とイメージアップに貢献します。 【公共サービスの充実】	国際会議開催件数(件)	184	281 (申請値) ※JNTOによる確定値は2年10月頃公表予定
	入込観光客数(万人)	4,700	2年11月頃公表予定
	外国人市内宿泊者数(万人)	180	2年11月頃公表予定
	ウェブサイト総ページビュー数(万件)	1,500	1,051
	観光案内所への来訪者数(うち外国人来訪者数)(万人)	86 (12)	72 (12)
公益財団としての役割に留意しながら支出の見直しに取り組むとともに、新たな財源の獲得を含めた収入の確保に努めることにより、中長期的に安定した財務基盤を確立します。 【財務内容の改善・向上】	決算収支差額(千円)	0以上	▲29,140 千円
市民・企業・行政などの多様な協働と広域連携により、効果的・効率的な事業運営を行います。 【効率性の発揮と成果】	賛助会員数(会員)	550	599